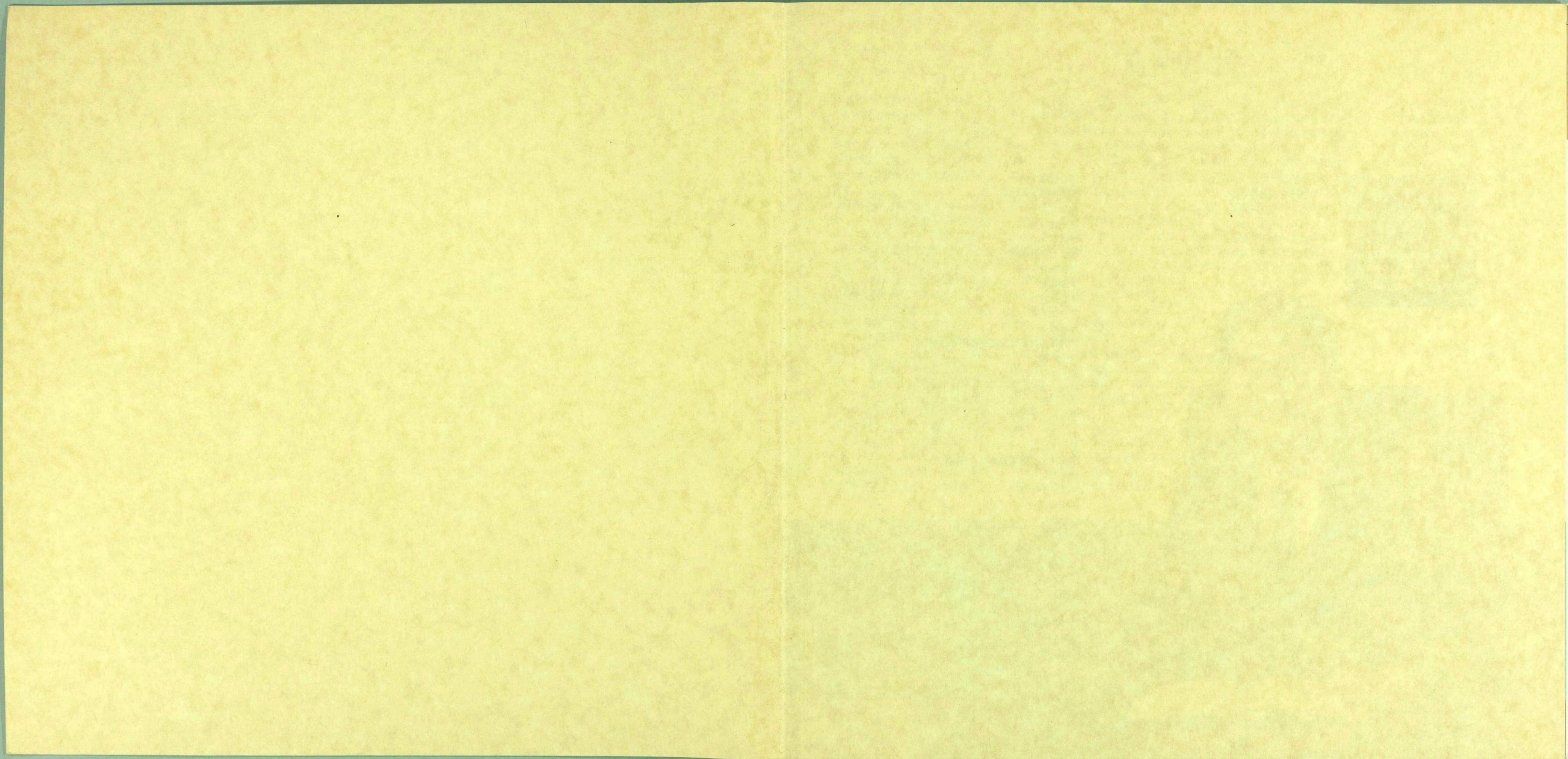




HUMAN CITY KUMAMOTO

'95 熊本市勢要覽



KUMAMOTO  
CITY

'95  
市勢要覧

C  
O  
N  
T  
E  
N  
T  
S

写真説明

刑部 けびよ 郎玄関の懸魚  
破風板の下につけて、棟木・桁の鼻を隠し、妻の飾りとする板。

発刊のことば	1	社会保障	42
熊本市民愛市憲章	2	保健医療	44
市木・市花・市鳥	3	健康文化	46
熊本の四季・春	4	雇用福祉	47
熊本の四季・夏	5	消費者行政	48
熊本の四季・秋	6	男女共同参画社会	49
熊本の四季・冬	7	学校教育	50
熊本市のあゆみ	8	学校施設	51
名誉市民	14	社会教育	52
地域と気象	15	青少年の健全育成	53
人口	16	創造的な人づくり	54
基本構想ヒューマンシティくまもと		活力あふれる交流拠点都市を目指して	
水と緑の人間環境都市を目指して		国際交流	56
良好な環境づくり	20	観光・コンベンション	58
緑と水	21	流通・情報拠点	61
ごみ・し尿処理	22	中小企業	62
公害防止	24	魅力ある商店街	63
防災	25	工業	64
消防	26	農林水産業	65
交通安全	27	風格ある文化創造都市を目指して	
住宅	28	歴史文化	67
公園緑地	29	史跡・文化財	68
上水道	30	都市景観	69
下水道	31	市民文化	70
市電・市バス	32	生活文化	71
道路・駐車場	33	行政	72
市街地開発	34	市議会	74
基幹交通	36	財政	76
いきいきとした市民福祉都市を目指して		広報・広聴	78
地域福祉	38	市民の暮らし	79
高齢者福祉	39	熊本市案内図	80
心身障害者福祉	40	資料編	81
児童・母子福祉	41	熊本市歌	

発刊のことば

水と緑の豊かな自然に恵まれ、優れた伝統と文化を有する熊本市は、平成3年2月、飽託郡4町との同時合併を実現し、今や人口65万人、政令指定都市を除くと全国2番目の大都市として着実な発展を続けております。

戦後50年、経済大国に成長した日本は、今や、物より心の豊かさ、中でも人情味や思いやりの心、温かい家族の絆、伝統的な地域とのつながりなどが必要とされてきました。同時に、地球規模での環境問題や急速な高齢化の問題が顕在化する中で、人間1人ひとりの豊かな心も強く求められる時代を迎えております。

そこで、私はこのような時代への対応はもとより、熊本市をこれまで以上に人情味豊かなふるさととするために、特に市民の皆様の御協力をいただき、市政のあらゆる機会をとらえ環境教育や福祉教育を通じた心のかん養に全力で取り組みたいと考えております。そして厳しさの中にも温もりのある家族を単位として、その延長に校区があり、校区の集合が熊本市であります。いわば熊本市

は一つの家族という強い信念のもとで、市民の皆様と行政が積極的に意思の疎通を図る双方向の対話を基軸に、心の通い合う市民本位の市政を展開し、ここに住んで良かった、生まれて良かったと思えるような人情味豊かで思いやりあふれる都市づくりを進めたいと考えております。

同時に、農水産業や商工業など熊本らしきあふれる産業の振興を図り、地域経済の活性化にも力を入れてまいります。

具体的には、「市民参加の対話のまちづくり」、「心豊かな人情味あふれるまちづくり」、「災害に強い安全なまちづくり」、「機能的で効果的なインフラの整備と熊本らしきのあふれる都市経営」を重要政策課題として市民交流サロンの設置、市民の声を市政に生かす市政懇談会の開催、障害者、高齢者等の福祉問題やいじめの問題などを解決するために、学校、地域、ボランティアがそれぞれ主体となって取り組む諸事業の積極的な展開、先の阪神大震災の教訓を生かした熊本地域防災計画の見直しや、消防司令管制システムの整備、道路、

公園、住宅などの社会資本の整備、熊本駅周辺や南熊本駅周辺などの拠点開発、このほか環境保全都市宣言、平成9年開催予定の男子ハンドボール世界選手権大会、平成11年開催予定の国民体育大会に向けての取り組みなど、重要施策に全力を尽くし、有機的・集中的に展開してまいります。

また、本年は戦後50年を迎え、この間熊本市にとってまさに焦土からの復興の歴史でありました。特に、

昭和28年の大水害、平成3年の台風19号、長崎普賢岳の噴火による降灰等、幾多の困難を克服してこれましたのも多くの市民の方々のためまぬ努力の結果であります。

今後は市民の皆様と一心同体となって、希望に満ちた「新しい熊本」の建設に全力を傾注する決意であります。どうか市民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い致します。

この'95市勢要覧は、21世紀に向けて大きく羽ばたく新熊本市の姿を収録したものであり、ご高覧のうえ市政への一層のご理解を頂ければ、誠に幸いに存じます。

平成7年3月

熊本市長 三角保之





熊本市章

ひらがなの「く」の字を  
図案化したもので、市民の  
調和を基とし、たくましく  
発展する熊本市の姿を太い  
円で示したものです。

## 熊本市民 愛市憲章

品位ある市民の  
誇りのために

- 私たち熊本市民は  
清潔で住みよい街をつくりましょう
- 私たち熊本市民は  
郷土の自然や文化財を大切にいたしましょう
- 私たち熊本市民は  
時間を正しく守りましょう
- 私たち熊本市民は  
交通道徳を重んじましょう
- 私たち熊本市民は  
互いにあたたかく交わり旅行者を親切に迎えましょう

昭和35年5月11日制定



## 人が輝く街、躍動する街、そして21世紀

笑顔が輝く。未来への期待に確信を持ち、  
街が躍動する。ほとばしるエナジーを産業に、  
政令指定都市を除き、全国2位の人口は、21世紀初め、70万人、熊本都市  
産業が、交通が、生活が、文化が、そして環境が、そこに住む大切な人たちのために、

## へ、大いなる発展をめざす都市、くまもと。

我が街を愛する人の、笑顔が輝く。  
スポーツに、文化に見い出し、街が躍動する。  
圏として100万人を目標とし、市街はさらに大きくエリアを拡大させる。  
この街を訪れる人をあたたかくもてなすために、さらにもっときらめく都市になる。

市木・市花・市鳥

市木・市花 昭和48年10月9日制定  
市鳥 昭和58年5月22日制定

## THE SYMBOL TREE

IN KUMAMOTO

●市木 イチョウ(イチョウ科)

熊本市民には熊本城が銀  
杏城といわれているように  
なじみ深く、強健で樹齢が  
長く、市街地の街路に多く  
植栽され、独特な尖円錐形  
の樹形をつくり春の緑陰、  
秋の黄葉とその美しさでよ  
く知られている。



## THE SYMBOL FLOWER

IN KUMAMOTO

●市花 肥後椿(ツバキ科)

江戸時代から細川藩の庇  
護を受け、藩士をはじめ寺  
社地の豪族等の愛好者によ  
って広められ改良を重ねて、  
清雅枯淡の味わいある銘花  
となったといわれている。  
肥後椿の特色は薄色の花弁  
が主流でよく整った一重咲  
きで、中心に金糸銀糸のよ  
うな色鮮やかな太い雄しべ  
が梅芯のように盛りあがる  
ところにある。



## THE SYMBOL BIRD

IN KUMAMOTO

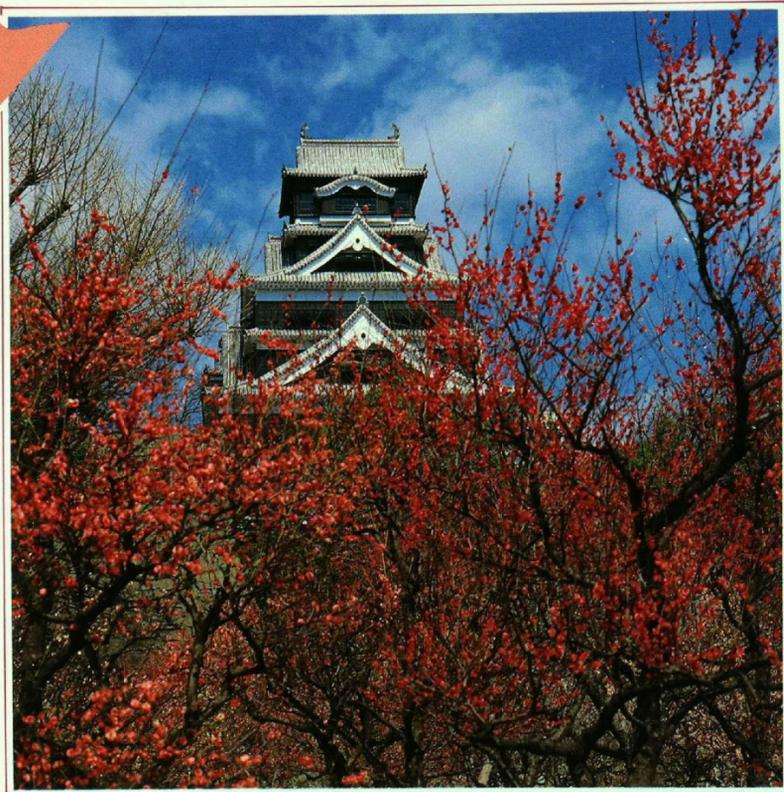
●市鳥 シジウカラ(シジウカラ科)

全長約14.5cmで、美しい  
澄んだ声でさえずり、多量  
の害虫を食べ、緑を守る益  
鳥として市民に親しまれて  
いる。金峰山や立田山、託  
麻三山など森に多く生息し  
白い胸に黒ネクタイ状の帯  
が目立つ可愛い姿で、四季  
を通じて観察される。

(写真は、東海大学出版会提供  
フィールド図鑑より)

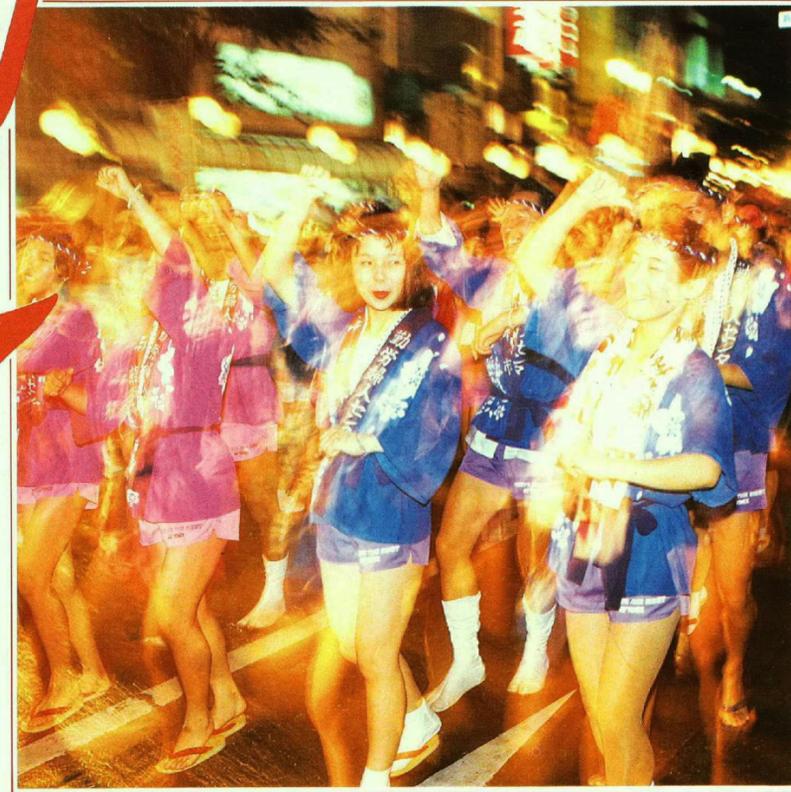


S P R I N G



熊本の、春のはじまりはお城の梅。  
まだ風がつめたい早春の、すんだ大気の中、  
やわらかな花が枝にポツッ、ポツッ。  
「春ですよ——」  
少しずつ、だけど確実に、また季節がめぐり始める。  
やがて桜が、  
満開の桜がお城をつつみこむ。

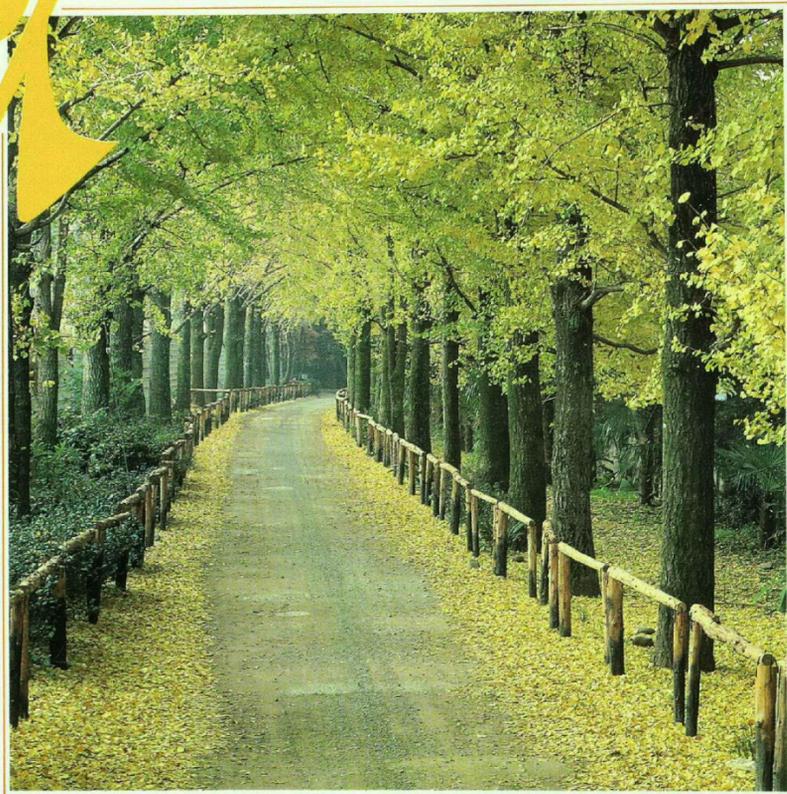
S U M M E R



暑い熊本の夏の、祭が熱い。  
夜空に広がる花火の、光と音の饗宴。  
サンバのリズムが街中に響きわたり、  
2万6千の踊り手のエネルギーが宵の街を揺らす。  
「わっしょい！」  
3日間で95万人を集める火の国まつりが  
熱く燃えて、今、クライマックス。

●FOUR SEASONS IN  
KUMAMOTO

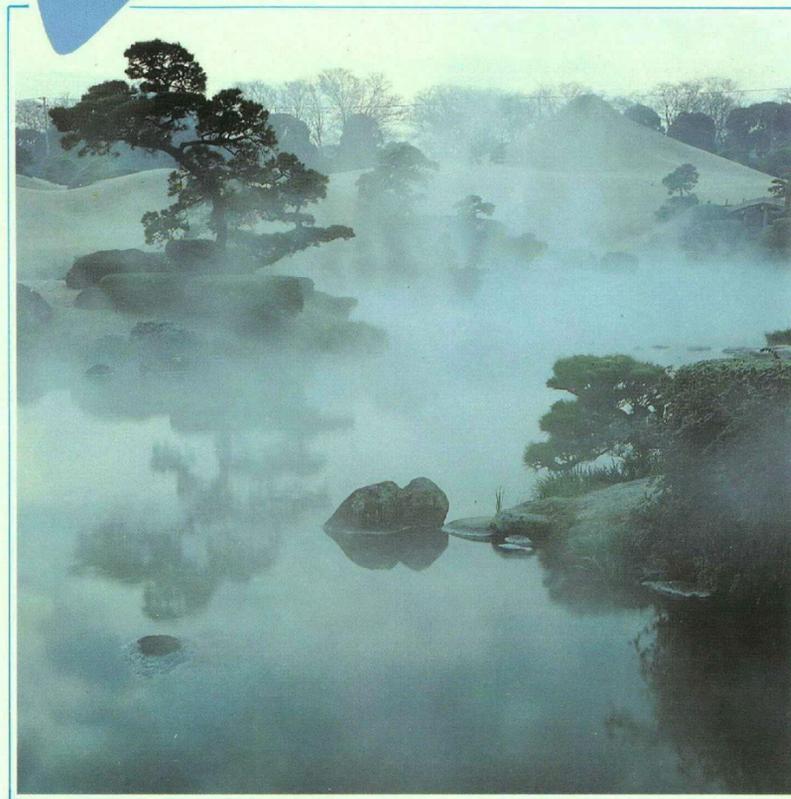
A U T U M N



熊本の秋は長い。  
空が高くなり、森の都が色づく時、  
いちよう並木はまるで黄色い絨毯。  
「サクッ、サクッ」  
懐かしい風景が、  
目の前の景色と重なる時、  
銀杏城が街にとけこむ。

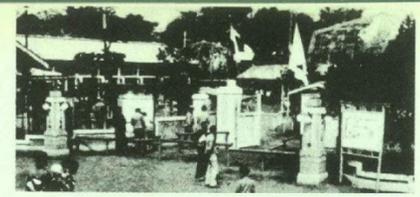
●FOUR SEASONS IN  
KUMAMOTO

W I N T E R

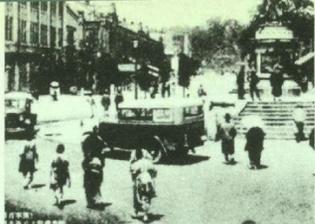


季節がまた、美しい風景を作りだす。  
まるで水墨画の様な、だけど空気がゆっくり動く。  
水輪が一つ、また一つ。  
「あたたかい」  
清水湧き出づる街 熊本  
その水は、真冬のつめたい大気の中で、  
あんがい、あたたかい。





昭和4年7月に水前寺動物園が開園。

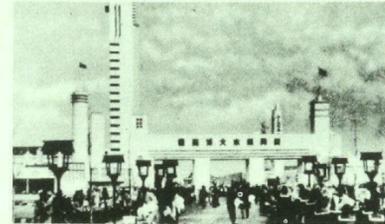


昭和10年頃の市街記  
念碑前、市営バスの発  
着所。左に専売局と公  
会堂、右に勸業館、電  
話局が見える。



昭和35年10月、第  
15回国民体育大会  
は、全国から1万  
3千人が集まり盛  
大に開催された。

昭和5年10月 市公会堂新館が開館  
昭和43年市民会館の出現に伴い取りこわされた。



昭和10年3月から5月にかけて開かれた  
新興熊本大博覧会。

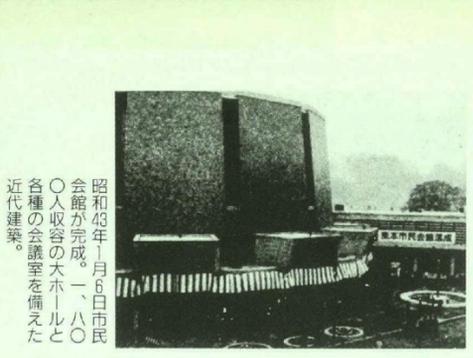


昭和28年6月26日「大水害の惨  
状。到る所泥の山。流失した家財  
などで復旧に多くの人手、資材と  
日数を要した。」(上通の筋)

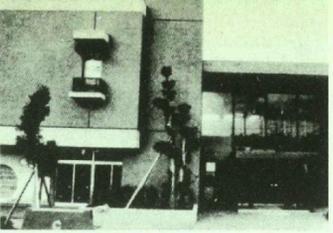


昭和35年9月、  
83年ぶりに熊  
本城天守閣が  
再建された。

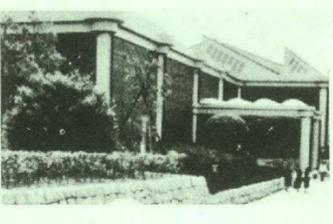
年(西暦)	できごと	年(西暦)	できごと	年(西暦)	できごと	年(西暦)	できごと
昭和4(1929)	4月 熊本市公会堂新館が開館	昭和5(1930)	5月 天皇后両陛下ご来熊	昭和6(1931)	1月 併	昭和7(1932)	7月 大水害で市の33%が浸水
昭和18(1943)	この年、学徒、女子挺身隊の戦時動員が開始される	昭和25(1950)	この年、国立熊本大学発足、県立熊本女子大学が創設される	昭和33(1958)	7月 大水害で市の33%が浸水	昭和40(1965)	4月 東部汚水処理場完成
昭和19(1944)	健軍に三菱重工業航空機製作所が完成する	昭和26(1951)	市立熊本保健所を上林町に開設	昭和34(1959)	2月 NHK熊本テレビ開局	昭和41(1966)	9月 市食肉センター開所
昭和20(1945)	市電氣局が交通局と改称	昭和27(1952)	朝鮮戦争おこる	昭和35(1960)	4月 中島村を市に合併	昭和44(1969)	9月 この年、市内全小学校にプール完成
昭和21(1946)	市立本荘産院が発足	昭和28(1953)	市競輪事業開設	昭和36(1961)	4月 天皇皇后両陛下ご巡幸で立田山、水前寺などを観覧	昭和45(1970)	10月 西部清掃事業所開所
昭和22(1947)	7月・8月の空襲で市の大半が焦土と化す	昭和29(1954)	熊本市立産院開設	昭和37(1962)	3月 第30回選抜高校野球大会で済々黉が優勝	昭和46(1971)	10月 市民相談室を設置
昭和23(1948)	3月 終戦の詔書放送	昭和30(1955)	市教育研究所を設置	昭和38(1963)	9月 熊本市体育館が水前寺公園横に完成	昭和47(1972)	4月 熊本市保健所が九品寺1丁目に新装発足
昭和24(1949)	2月 市立市民病院発足	昭和31(1956)	市立図書館発足	昭和39(1964)	4月 住民登録制度を実施	昭和48(1973)	3月 出水町に県庁新庁舎が完成
昭和25(1950)	11月 日本国憲法公布(新憲法)	昭和32(1957)	田迎村、御幸村を市に合併	昭和40(1965)	4月 田迎村、御幸村を市に合併	昭和49(1974)	10月 市民相談室を設置
昭和26(1951)	4月 この年、学校給食はじまる	昭和33(1958)	池上村、高橋村、城山村を市に合併	昭和41(1966)	7月 国民年金制度発足	昭和50(1975)	10月 熊本市保健センター開設(現東部保健センター)が開所
昭和27(1952)	7月 市長、県知事が初めて公選で決まる	昭和34(1959)	市立図書館発足	昭和42(1967)	4月 国民健康保険制度発足	昭和51(1976)	10月 西部、南部市民センターが完成
昭和28(1953)	4月 国民学校が小学校に、また新制中学が誕生	昭和35(1960)	ラジオ熊本開局	昭和43(1968)	8月 熊本市空港開設	昭和52(1977)	10月 森の都のシンボルとして市の木「イチョウ」、市の花「肥後ツバキ」がきまる
昭和29(1954)	5月 憲法、地方自治法施行	昭和36(1961)	市自治警察廃止(警察制度改正)	昭和44(1969)	4月 愛市憲章を制定	昭和53(1978)	4月 身体障害者福祉モデル都市に指定される
昭和30(1955)	3月 市消防本部設置	昭和37(1962)	市立母子寮を開設	昭和45(1970)	8月 熊本市空港開設	昭和54(1979)	4月 勤労婦人センターを本山町に開設
昭和31(1956)	4月 市自治警察本部設置(新警察制度発足)	昭和38(1963)	市立母子寮を開設	昭和46(1971)	4月 熊本市空港開設	昭和55(1980)	7月 熊本市保健センター開設(現東部保健センター)が開所
昭和32(1957)	4月 新制高等学校発足する	昭和39(1964)	市電30年記念「交通観光博覧会」を開催	昭和47(1972)	9月 熊本市空港開設	昭和56(1981)	10月 龍田市民センター完成
昭和33(1958)	4月 「火の国まつり」はじまる	昭和40(1965)	市電30年記念「交通観光博覧会」を開催	昭和48(1973)	11月 託麻村を市に合併	昭和57(1982)	6月 「健康都市」を宣言
昭和34(1959)	4月 市立実務員養成所(後の実務商業)を開設	昭和41(1966)	松尾村を市に合併	昭和49(1974)	4月 託麻村を市に合併	昭和58(1983)	7月 中国・桂林市と友好都市締結
		昭和42(1967)	託麻村の一部を市に合併	昭和50(1975)	9月 熊本市空港開設	昭和59(1984)	10月 小橋記念館完成
		昭和43(1968)	小島町、龍田村を市に合併	昭和51(1976)	12月 西保健所を開設	昭和60(1985)	7月 青少年野外活動センター完成
				昭和52(1977)	3月 天守閣再建記念「躍進熊本大博覧会」開催	昭和61(1986)	8月 西ドイツ・ハイデルベルク市、管楽五重奏団来熊
				昭和53(1978)	7月 「躍進熊本大博覧会」開催		11月 西ドイツ・ハイデルベルク市、管楽五重奏団来熊
				昭和54(1979)	11月 熊本市基本構想きまる		8月 幸田市民センター完成
				昭和55(1980)	11月 市立ユースホテル開館		6月 北部保健センター開設
				昭和56(1981)	10月 「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開		7月 小橋記念館完成
				昭和57(1982)	10月 秋津下水処理場が完成		10月 青少年野外活動センター完成
				昭和58(1983)	1月 戸島町に市斎場開設		12月 新西保健所開設
				昭和59(1984)			12月 川尻下水処理場運転開始
				昭和60(1985)			4月 「ふれあいの森林」内に森林学習館がオープン
				昭和61(1986)			5月 南部市民センター開設
							7月 西消防署が移転新築
							9月 教育センターオープン
							10月 第1回熊本緑化祭開催
							12月 米国・サンアントニオ市と姉妹都市締結
							62(1987)
							4月 川尻下水処理場運転開始
							5月 「ふれあいの森林」内に森林学習館がオープン
							7月 南部市民センター開設
							9月 西消防署が移転新築
							10月 教育センターオープン
							12月 第1回熊本緑化祭開催
							63(1988)
							1月 川尻下水処理場運転開始
							4月 「ふれあいの森林」内に森林学習館がオープン
							7月 南部市民センター開設
							9月 西消防署が移転新築
							10月 教育センターオープン
							12月 第1回熊本緑化祭開催
							64(1989)
							1月 川尻下水処理場運転開始
							4月 「ふれあいの森林」内に森林学習館がオープン
							7月 南部市民センター開設
							9月 西消防署が移転新築
							10月 教育センターオープン
							12月 第1回熊本緑化祭開催



昭和43年1月6日市民  
会館が完成。一、八〇  
〇人収容の大ホールと  
各種の会議室を備えた  
近代建築。



昭和52年9月、東  
部市民センター開  
設。



郷土熊本に根ざした西日本  
一を誇る熊本博物館が昭和  
53年4月1日に開館した。



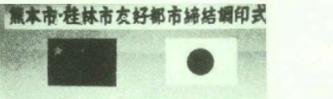
昭和48年6月、熊本・植木間の  
高速自動車道が開通した。



昭和54年4月、最新の  
処理機能を誇る東部清  
掃工場完成。



昭和53年8月、熊本の新しい夏まつ  
り、市民総参加の「火の国まつり」  
が始まる。



熊本市・桂林市友好都市締結調印式

昭和54年10月1日、市制90周年の記  
念すべき式典の席上で中国桂林市と  
友好都市締結。



昭和56年11月  
新市庁舎完成。

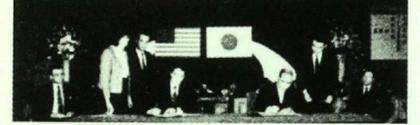
年(西暦)	できごと	年(西暦)	できごと	年(西暦)	できごと	年(西暦)	できごと
昭和48(1973)	5月 学校給食東共同調理場が完成	昭和54(1979)	4月 東部清掃工場完成	昭和60(1985)	3月 電子計算システム始動		
昭和49(1974)	6月 勤労婦人センターを本山町に開設	昭和55(1980)	6月 新熊本市市民病院開設	昭和61(1986)	4月 西部清掃工場完成・東部清掃事業所開所		
昭和50(1975)	9月 西部、南部市民センターが完成	昭和56(1981)	7月 熊本市保健センター開設(現東部保健センター)が開所	昭和62(1987)	7月 総合体育館・青年会館開館		
昭和51(1976)	10月 森の都のシンボルとして市の木「イチョウ」、市の花「肥後ツバキ」がきまる	昭和57(1982)	10月 龍田市民センター完成	昭和63(1988)	8月 第4回全国都市緑化くまもとフェア開催(8月1日~10月12日)		
昭和52(1977)	10月 身体障害者福祉モデル都市に指定される	昭和58(1983)	6月 「健康都市」を宣言	昭和64(1989)	10月 10月1日を「市民健康の日」と制定		
昭和53(1978)	5月 南千反畑町に中央老人福祉センターが完成	昭和59(1984)	7月 中国・桂林市と友好都市締結	昭和65(1990)	12月 新西保健所開設		
昭和54(1979)	9月 市立金峰山少年自然の家が開所	昭和60(1985)	10月 小橋記念館完成	昭和66(1991)	4月 川尻下水処理場運転開始		
昭和55(1980)	10月 市立金峰山少年自然の家が開所	昭和61(1986)	12月 青少年野外活動センター完成	昭和67(1992)	5月 「ふれあいの森林」内に森林学習館がオープン		
昭和56(1981)	11月 「地下水保全都市」を宣言	昭和62(1987)	8月 西ドイツ・ハイデルベルク市、管楽五重奏団来熊	昭和68(1993)	7月 南部市民センター開設		
昭和57(1982)	3月 西南の役百周年記念式典を行う	昭和63(1988)	11月 西ドイツ・ハイデルベルク市、管楽五重奏団来熊	昭和69(1994)	9月 西消防署が移転新築		
昭和58(1983)	4月 熊本市人口が50万人を突破	昭和64(1989)	12月 養護老人ホーム明生園開園	昭和70(2000)	10月 第1回熊本緑化祭開催		
昭和59(1984)	9月 熊本市人口が50万人を突破	昭和65(1990)	11月 身障者福祉センター希望荘開設	昭和71(2001)	12月 米国・サンアントニオ市と姉妹都市締結		
昭和60(1985)	10月 市立金峰山少年自然の家が開所	昭和66(1991)	12月 水害で約16,900人の市民の罹災者を出す	昭和72(2002)	1月 くまもと女性フォーラム'88開催		
昭和61(1986)	11月 「地下水保全都市」を宣言	昭和67(1992)	1月 熊本市総合計画基本構想きまる	昭和73(2003)	2月 シルバー人材センター発足		
昭和62(1987)	12月 熊本市基本構想きまる	昭和68(1993)	2月 熊本市保健衛生研究所開設	昭和74(2004)	4月 大阪事務所オープン		
昭和63(1988)	1月 市立ユースホテル開館	昭和69(1994)	3月 熊本市空港開設	昭和75(2005)	1月 シンボルマーク発表会		
昭和64(1989)	2月 「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開	昭和70(2000)	4月 九州縦貫自動車道(熊本・植木間)開通	昭和76(2006)	2月 長堀通り開通		
昭和65(1990)	3月 秋津下水処理場が完成	昭和71(2001)	5月 熊本市人口が50万人を突破				
昭和66(1991)	4月 戸島町に市斎場開設	昭和72(2002)	6月 熊本市人口が50万人を突破				
昭和67(1992)	5月 熊本市基本構想きまる	昭和73(2003)	7月 熊本市人口が50万人を突破				
昭和68(1993)	6月 市立ユースホテル開館	昭和74(2004)	8月 熊本市人口が50万人を突破				
昭和69(1994)	7月 「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開	昭和75(2005)	9月 熊本市人口が50万人を突破				
昭和70(2000)	8月 秋津下水処理場が完成	昭和76(2006)	10月 熊本市人口が50万人を突破				
昭和71(2001)	9月 戸島町に市斎場開設						



平成元年4月  
流通情報会館完成

昭和62年12月、米国サンアントニオ市と姉妹都市締結。

**熊本市・サンアントニオ市 姉妹都市締結調印式**



昭和62年9月、教育センターオープン。



女性消防士誕生。



平成元年10月1日  
市制100周年記念式典



昭和63年4月  
長瀬通り開通



平成2年4月、総合婦人会館・カルチャーセンターオープン



水資源国際会議



平成3年2月  
熊本市と飽託郡四町が合併

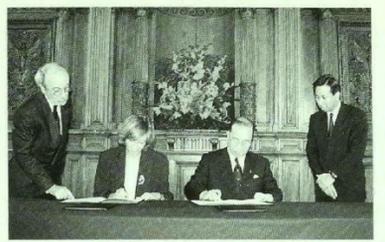


平成3年7月、「くまもと工芸会館」がオープン



平成2年10月  
「水の科学館」が開館

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと		
昭和	63(1988)	7月 大江市民センター完成	平	5月 川尻下水処理場汚泥焼却場完成	平	11月 財熊本国際コンベンション協会設立	平	3月 熊本港が一部開港(財国際交流振興事業団設立)	平成	6(1994)2月 老人保健福祉計画を策定	成	10月 国際交流会館がオープン	
	8月 江津湖まつり(マイソング発表会)	6月 中国・桂林市、アメリカ・サンアントニオ市、ドイツ・ハイデルベルグ市を迎え「水資源国際会議」を開催		4(1992)1月 熊本市総合計画基本計画策定		4月 熊本港背後地整備基本構想策定		4月 天明総合支所庁舎が完成		4月 東部環境工場が完成			
	10月 くまもと緑化祭・地場産業振興フェア開催	8月 花園市民センターオープン		3月 高規格救急車が消防局に配備		8月 保田窪放水路完成		5月 日吉・桜木中学校が開校		5月 高速消防艇「金峰」が任務に就く			
平成	元(1989)	1月 坪井川リバーウォーク構想発表	成	8月 花園市民センターオープン	成	4月 熊本城周遊バスがスタート	成	9月 新熊本市史発刊	成	8月 熊本城天守閣がリフレッシュ	成	9月 国際交流会館がオープン	
	3月 市議会で飽託郡四町からの合併請願採択	9月 市民長寿社会憲章制定		5月 ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式		9月 熊本城天守閣がリフレッシュ		7月 地域福祉コミュニティセンターが市内5カ所でオープン		7月 ファミリーフェスタ・くまもと'94が開幕			
	4月 「熊本百彩」開幕	10月 「水の科学館」が開館		7月 「上高橋団地」が完成		9月 熊本港背後地整備基本計画を策定		8月 熊本城天守閣がリフレッシュ		8月 交通・水道事業70周年記念式典			
平成	4月 流通情報会館完成	成	3(1991)2月 熊本市と飽託郡四町が合併	成	8月 熊本駅前北地区第一種市街地再開発事業完了	成	10月 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開催	成	11月 国際交流会館がオープン	成	11月 「市民子ども憲章」を制定		
	5月 「水源かん養林記念植樹祭」		3月 熊本市基本構想策定		8月 熊本駅前北地区第一種市街地再開発事業完了		10月 市内4カ所で地域コミュニティセンターオープン		9月 「大名屋敷・旧細川刑部邸」が完成		9月 国際交流会館がオープン		
	8月 金絲猴一般公開		4月 「市立総合ビジネス専門学校」が移転開校		10月 市内4カ所で地域コミュニティセンターオープン		11月 「長寿の里デイサービスセンター」が完成		10月 「大名屋敷・旧細川刑部邸」が完成		10月 国際交流会館がオープン		
平成	9月 宇土橋・数寄屋丸二階御広間完成	成	5月 本荘犬刈線立体交差開通	成	9月 くまもと環境フェア'92を開催	成	11月 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開催	成	11月 国際交流会館がオープン	成	11月 「市民子ども憲章」を制定		
	9月 動物資料館完成		6月 「南部総合スポーツセンター」がオープン		9月 熊本駅前北地区第一種市街地再開発事業完了		10月 動物園内に「熊本・桂林友誼亭」が完成		10月 透明ごみ袋によるごみ出し制度スタート		10月 ハンドボール世界大会の熊本開催が決定		
	10月 熊本城フェスティバル		7月 「くまもと工芸会館」がオープン		10月 動物園内に「熊本・桂林友誼亭」が完成		11月 「長寿の里デイサービスセンター」が完成		11月 透明ごみ袋によるごみ出し制度スタート		11月 ハンドボール世界大会の熊本開催が決定		
平成	2(1990)	3月 政治倫理条例制定	成	7月 「くまもと工芸会館」がオープン	成	5(1993)2月 辛島公園地下駐車場が完成	成	11月 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開催	成	11月 国際交流会館がオープン	成	11月 「市民子ども憲章」を制定	
	4月 「総合婦人会館・カルチャーセンター」がオープン	9月 台風19号来襲		5(1993)2月 辛島公園地下駐車場が完成		11月 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開催		11月 国際交流会館がオープン		11月 「市民子ども憲章」を制定			
成	4月 武蔵塚公園が新たに開園	成	10月 動物園が開園	成	環境総合計画まとまる	成	環境総合計画まとまる	成	環境総合計画まとまる	成	環境総合計画まとまる	成	環境総合計画まとまる



ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式



長寿の里デイサービスセンター



熊本・桂林友誼亭



平成5年3月  
熊本港開港



希望荘デイサービスセンター



辛島公園



高速消防救助艇



国際交流会館



平成5年9月  
大名屋敷・旧細川刑部邸完成



平成5年6月、「火の国フェスタ・くまもと'93」開幕



リフレッシュした熊本城天守閣



ハンドボール世界大会の熊本開催が決定



「市民子ども憲章」を制定



子ども文化会館